

御庄小コミュニティ・スクールだより

～人と人とのつながりを大切にする御庄小学校～

令和4年 NO. 4



第3回あいさつ運動の様子

10月に実施した学校評価アンケートでは、「進んであいさつができる」の項目が児童、保護者、地域とも80%を超えていました。意識は少しずつ高くなっていますが、「とてもそう思う」の割合が低いのが課題です。「とてもそう思う」と自信をもって、あいさつできることを願い、今後もあいさつ運動を続けていきます。

学校評価アンケート	本校児童は、進んであいさつをしていますか	
	とても思う・そう思う	あまり思わない・ほとんど思わない
児童	86	14
保護者	83	17
学校運営協議会委員	86	14

きんたいきょう学

～錦帯橋ってどうやってできているの？～

長年にわたり錦帯橋の架け替え事業に携わるなど、海老崎組棟梁として、世界を股にかけて活躍されている海老崎柔次さんに、6年児童がお話をうかがいました。錦帯橋は、木で作られている橋では、世界一の大きさであるばかりか、4トンもの重さを支えることができる世界屈指の丈夫な橋でもあります。橋の設計から制作までされる海老崎さんは、これまでの経験を振り返りつつ、「人は困難や切実な必要感に迫られたとき、思いがけず素晴らしいアイデアを思いつく」「あきらめずに考え続けること」「自分から求めていくこと」など、生き方についての大切なアドバイスもたくさんいただきました。

さて、錦帯橋は下の真ん中の写真のように組み立てられています。シンプルな構造ですが、筆箱をおいても崩れない強度に子供たちは驚いていました。子供たちも割り箸を使って橋の組み立てに挑戦しましたが、思った以上に難しく、何度も失敗しては組み直す姿が見られました。錦帯橋が、多くの知恵の集結であることを改めて感じた、充実した2時間でした。この学習の後は、実際に錦帯橋まで出かけ、実物を見ながら、学びを深めていきます。子供たちのガイドをお楽しみに！



詳しく聞いてみよう



橋の組み方



割り箸で橋を組んでみよう

安全ボランティアのみなさん、いつもありがとうございます

10月3日に安全ボランティアのみなさんとの対面式を行いました。この日は、3名の方から、「登下校で危険なところ」「自分で安全確認する大切さ」など、地域の安全ボランティアさんならではの具体的なアドバイスをいただきました。「蛍光色の帽子、ジャケットに身を包んだボランティアさんが、通学路に立ってくださるだけで、安心する」と感じている保護者も多いと思います。駅前の横断歩道など、まだまだ目の届かないところがたくさんあり、安全ボランティアさんを大募集しています。散歩ついでに子供たちの見守りをしていただけると助かります。